



# 活力ある秋田 Vol. 65

## 私の『秋田』が 動きだしている！

〔秋田市観光クチコミ大使〕女優 浅利 香津代 氏

『感動』の二文字を求め18歳で秋田を出、今も変わらずトボトボ歩いている。家も家族も無くなって『秋田』が活字になりそうな頃、東京と近郊、名古屋、大阪の県人会で腹に秋田背に秋田で頑張っている「秋田大好き人間」と沢山出会え『秋田』が心の中で動き出した！経歴の文字数多く恐縮だが、テレビで秋田弁を全国に紹介出来、舞台上で秋田題材の作品を数本秋田弁で全国公演をしてきた！座談会で「いつか秋田に行き秋田弁での生活にふれるのが夢」と九州四国山陰の方々と言う、遠い未知の国への憧れと期待だ。6年前秋田市に日舞の教室を開設。毎月秋田との往復の生活の中で次々秋田の宝を見つける！今年、国民文化祭と出会うとは夢の様！きっと秋田という土地を信じ、両親のいない私を育て、秋田弁で豊かに商い一筋で充実した人生を生き抜いた明治生まれの祖父母の天からの褒美だ。嬉しくて6ヶ所に参加！国文祭の秋田応援で8月銀座博品館公演を県会一丸で頑張ったが、出て来た故郷を恋うる心は県内の方にはあまり理解されず、各町へのツアー作りも必死にしたが、開会式参加が秋田参加だと思っている方多く、自分の町を観光しただけで帰京はもったいない。これから県会がツアーで動く時ぜひ市町村の商工会の方々も東京で、地元でと集いある度こまめに参加し人としての出会いを

深めてほしい！人と人が出会い心から心へ絆の糸を渡し合って欲しい！胸開いたら、きっと道は見つかり、道幅は広がり、道端には思わぬ宝物を見つけるものだと、商い一筋の明治生まれの祖父がよく言っていた。今、私も祖父の言葉を胸に熱い想いで秋田と東京を往復している。

### ■経歴

秋田市出身。秋田県立秋田北高等学校卒。日本大学芸術学部演劇学科卒。女優・望月優子、劇団前進座・中村翫右衛門に師事。現在事務所『あさり座』所属。NHK朝ドラ「雲のじゅうたん」の秋田弁で人気を、映画・テレビ多数出演。舞台では文化庁芸術祭で秋田弁の藤子役にて優秀賞、他作品で紀伊国屋演劇賞、関西十三夜会賞受賞。また「秋田の赤い靴の少女」の実話を小説にした渡辺喜恵子（北秋田市）原作を松山善三脚本一人芝居「足の裏の神様」として秋田魁新報社製作、あさり座制作で初演した！他に、秋田市文化団体連盟賞、秋田県民謡協会特別賞、秋田市文化功績章受賞。秋田県藤里町観光大使・秋田市観光クチコミ大使、秋田大学客員教授。日本舞踊・地唄舞の師範で秋田市に教室『清香會』開設。秋田市企画部依頼の市内小学校5・6年生の授業「平和の朗読会」も毎年10校つづで5年目を迎える。今年度の国民文化祭秋田には6ヶ所に参加！初日10月4日男鹿市「男鹿を愛した菅江真澄とナマハゲ」朗読後、秋田市に移動「東海林太郎ものがたり」朗読。11日五城目町全国朝市サミット「秋田の宝！五城目の朝市！」講演。25日仙北市午後1時「貞子～秋田おぼこ物語～」朗読。11月2日能代市「ミュージカルフェスティバル」審査とパネラー。3日八郎潟町「宮沢賢治の“雨ニモマケズ”朗読秋田大会イン八郎潟」審査・朗読講話で参加。